

読書運

第42号

動通信

特集：ファンタジーと児童文学

紹介：私の好きな児童文学・第3回

おしらせ：創作コンクール作品募集

発行：2007年6月30日

フェリス女学院大学附属図書館

読書運動プロジェクト

特集 ファンタジーと児童文学

『ダレン・シャン 奇怪なサーカス』

ダレン・シャン著 橋本恵 訳 小学館

請求記号 P211.747 図書番号 190393940 緑園2F読書

ある日ダレンはシルク・ド・フリークの子ケットを手に入れる。友達
のステイプとそこで見たものは、恐ろしくも魅力的な怪物たちだった。
この一夜を境にダレンは日常を失っていく。ステイプから恨まれ、
シルク・ド・フリークの一員となったダレン。異質なものとなってしま
ったダレンの運命が気になって、ページを捲る手が止まらなくなりまし

(日本文学科一年 高橋さくら)

はじめに

あつという間に六月も末、前期も終了間近になってきました。試験準備をする人で、図書館も混みあうようになっていきます。

最近、残念なことに、図書館内で飲食する人や、大きな声で談笑する人、本に書き込みをしたりする人が後を絶ちません。三階の休憩室では飲み物を買って飲むことはできますが、その飲み物を休憩室外に持ち出したり、中で食事をしたり、電話をかけたりにすることはできません。また、図書館内には飲食物を持ち込まないようにしてください。自分たちの図書館、自分たちの本という自覚を持って、マナーを守り、気持ちよく利用してください。

(図書館事務室)

『西の善き魔女』シリーズ 荻原規子 著 中公文庫

シリーズ1巻 請求記号 BC112848 図書番号 103235060 緑園2F

フィリエルという少女は、天文学に打ち込み娘のことも省みないような父親と、その父に拾われたルーンという少年と、一つの家族のように暮らしていた。一五歳になった彼女は、他の村娘たちと一緒に、初めて社交の場に出ることを許されたが、そのとき、これまでその誕生日さえ忘れるくらい娘に無関心だった父が、遅ればせながらも、母の形見だという大きな宝石のついたネックレスをプレゼントしてくれた。そして、父に反感を抱きながらも、そのネックレスをつけてパーティーに出たフィリエルは、その日から王位継承権をめぐる争いに巻き込まれていった。ファンタジーの定番、ユニコーンや竜が出てきたり、「ありえない!」と思うところも多々ある話だが、フィリエルの心の変化や、人の心の闇

についても丁寧に書かれており、思わず引き込まれてしまう。登場人物の行動が、やや非現実的すぎるくらいもあるが、絶妙のタイミングで織り込まれる現実とのギャップが、実に心地よい作品である。

(日本文学科三年 高松彩子)

『アルテミス・ファウル』妖精の身代金』

オーエン・コルファー 著 大久保寛 訳 角川書店

所蔵なし 発注中

アルテミス・ファウルは伝説的な犯罪一家に育った一二歳の天才少年。コンピュータを駆使して「妖精の書」を解読したアルテミスは、妖精の黄金を手に入れようと目論む。だが本物の妖精たちは、物語に登場するような愛らしい存在ではなく、ハイテクで武装した危険な集団だった！アルテミスと妖精たちの激しい戦いの行方は、いかに？全ページの横に、妖精文字で文章が書かれているので、読み終わった後も、暗号解読の楽しみが味わえます。

(日本文学科二年 平石涼子)

『しゃばけ』 島中恵 著 新潮文庫

請求記号 RP11174 資料番号 190397390 緑園2F

ファンタジーといえば、ミステリアスな魔法使いや、かわいい妖精などを思い浮かべる人が多いと思います。ところがこの『しゃばけ』に出てくるのは、体の弱い薬種問屋の若旦那な一太郎と、愉快でかわいらしい妖怪たちという、正に、日本情緒満載のファンタジー小説です。読みだしたら止まらない大江戸妖怪捕物帳を、是非読んでみて下さい。

(日本文学科二年宮川いづみ)

『指輪物語』 J・R・トールキン著 評論社

請求記号 933.1165.1176 資料番号 101845790-830 緑園4F

映画が大ヒットしたため、ストーリーをご存知の方も多いのではないだろうか。J・R・トールキンの『指輪物語』は映画以上の魅力がある。物語の舞台となる広大な「中つ国」の世界や、そこで始まる一つの指輪を巡る物語を、是非味わってほしい。また、『指輪物語』の前章に当る『ホビットの冒険』もお勧めしたい。

(日本文学科三年 矢島陽南子)

『ハリーポッター』シリーズ J・Kローリング 著 静山社

シリーズ1巻 請求記号 909.33.1178 資料番号 102728400 緑園4F

世界中の子供から大人までが夢中になったハリーポッターシリーズ。映画も大ヒットしているので、本を読んでいなくても知っている方は多いでしょう。ですが、映画と本では楽しさが違います！映画だけではハリーポッターの世界はわかりきれません！分厚い作品ですが、読み始めればあつという間にのめり込めます。そんなハリーポッターの世界に浸って今年の猛暑を忘れてみるのはいかがでしょうか？

(日本文学科二年萩原やよい)

『ブランコのむこうで』 星新一 著 新潮文庫

請求記号 RP11229 資料番号 190434150 緑園2F 読書

一人の幼い少年が夢の中をさまよってさまざま人に出会い、人の感情や、何かを悟っていきます。毎日が単調でつまらないと言う人や、短い章ごとになっているので、少しずつ読みたいという人におすすめです。

(国際交流学科一年 内藤祐美)

『だれも知らない小さな国』 さとうさとる 著 講談社

請求記号 R2ニ4ナ5 資料番号 190702680 緑園2F読書

夏休みのある日、小学三年生の「ぼく」は、地元の人は近づかない小山に、もちの木を探しに出かけました。そこで出会った落探りのおばあさんから、昔からこの山には「こぼしさま」という小人が住んでいるという言い伝えを聞きます。

次の年の夏休みに、「ぼく」はその小山を流れる小川で、流してしまつた赤い運動靴を拾い上げようとしている小さな女の子と出会います。そしてなんと、拾い上げたその靴の中にはとても小さい人が入っていたのです。その小さな人、こぼしさまは、頭が良く人間の言葉を喋るのですが、とにかく小さいためにとても早口でした。そんなこぼしさまの仲間たちと、人間の「ぼく」が協力して小山を守るために立ちあがる話です。コロボツクル物語シリーズの続刊では主人公の「ぼく」も成長し、コロボツクルたちも代替わりしていきます。可愛らしく個性豊かなキャラクターと、ハツとさせられる台詞にドキドキしながら、自然の大切さを考えてみてください。

(日文一年 岡田奈々美)

紹介 私の好きな児童文学 第三回

『巖窟王』 アレクサンドル・デュマ 著

『モンテ・クリスト伯』岩波文庫 赤 請求記号 BR115331ニ17 資料番号 100129640~700

本が好きだ。

子供のころの読書体験は、後々の人生に大きな影響を与えらると思う。

私の好きなベストファイブは、いずれも子供ころに出会ったものだ。その五冊に、私は何を讀んでも必ず戻ってくる。辛いとき、嬉しいとき、

私は、意図せずそれらの本に手を伸ばしている。紙は黄ばみ、所々破れてさえているが、あと何十年かしたら、それらの本と一緒に棺に入りたいとさえ思う。

私の両親は、なぜか童話や絵本の類ではなく『少年少女世界の名作』シリーズや、『ダリ画集』だの『レンブランド画集』だのを与えてくれた。本も絵も大好きだったから、私はそれらの前に何時間でも座っていたものだ。『ファウスト』も『赤と黒』も『カラマーゾフの兄弟』も『戦争と平和』も、最初に讀んだのは子供向けのダイジェスト版だった。高校生になって一般向けのものに手を出したときに、あまり苦勞せずなりにと讀めたのは、粗筋を知っていたからだろう。

小学生だった私は、詩が特に好きだった。両親は、私が彼らの書架を漁るのを嫌がりはしなかったから、そのころのお気に入り、萩原朔太郎の『月に吼える』だったり、上田敏の訳詩集『海潮音』だったり、ラノボオの『地獄の季節』だったりした。当然、きちんと理解などしてはいらずもなかつたけれど、それらの詩の言葉に、妙に官能をかき立てられるような心地がしていた。一度など、母に向かって「朔太郎って、色っぽいね」と言っつて、はたかれたことがある。小学三〜四年生のころのことだ。

話を五冊の本に戻そう。

パール・バックの『大地』、アレクサンドル・デュマの『巖窟王』、北原白秋の詩集『邪宗門』、江戸川乱歩の『孤島の鬼』、宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』。これが私の基本の五冊である。

『大地』を讀まなければ、私は中国語学科に進学しなかつた。白秋の詩は私の想像力を自由に羽ばたかせてくれたし、乱歩は大好きだった老練

灸医の影響で、時を忘れて読みふけた。

また、宮沢賢治には感謝してもしきれないと思っっている。『銀河鉄道の夜』に出会えたから、今の私がある。

「なにがしあわせかわからないです。ほんとうにどんなつらいことでもそれがただしいみちを進む中のできごとなら峠の上りも下りもみんなほんとうの幸福に近づく一あしずつですから」

というセリフに支えられて、ここまで来た。だからこの本が昨年度の読書運動プロジェクトの『フェリスの一冊の本』に選定されたときは、正直なところ複雑な気分だった。好きなものをあれこれ言われたくないという、大変げ臭い理由だったのだが、一年間の活動を通して私は様々な気付きを与えられた。一人きり本に耽溺するのはもちろん楽しい。しかし、大勢で読み互いに発信することで、読書はより深く興味深いものになっていくということ、私は身をもって知ることができた。

そして、『巖窟王』。

思い起こせば三〇年前。巖窟王の主人公モンテ・クリスト伯爵は、私の初恋の人であった。

彼との出会いも、やはり『少女少女世界の名作』シリーズだった。一般向けのもは『モンテ・クリスト伯』の邦題で、岩波文庫の赤に収録されている。大変有名な小説なので特に紹介も必要なからうが、一口に言えば、冤罪で日も射さぬ牢獄に一四年間閉じ込められていた男が、隣の牢の囚人に秘宝のありかと学問を教えられ、脱獄して己を不幸に陥れた者どもに復讐するという、救いと赦しの壮大なドラマであり、一流のエンターテインメントである。この作品は一八四四年から一八四六年にかけて、当時のフランスの新聞『デバ』に掲載された。日本では明治時代に黒岩

涙香の翻訳が『巖窟王』のタイトルで出版されている。私が読んだ少女版のタイトルも『巖窟王』だった。

私の両親は、なにかと「忘れなさい、赦してあげなさい」という人だった。だから私も、よく言えば根に持たない、しかして事実単に忘れっぽいだけの人間に成長した。

が、モンテ・クリスト伯爵は、自分を不幸にしたものを絶対に赦さず、冷酷で執拗な復讐を次々と実行していく。それなのに復讐に成功しても畏れと空しさばかりがつのり、少しも嬉しそうではない。人として当然の幸福を理不尽に奪い取られ、さらにその上自ら進んで虚無に落ち込んでいく彼が、当時の私には、かわいそうでならなかった。側にいて「いいこ、いいこ」してあげたいと思ったものだ。

作中でその役を担っているのが、伯爵によつて不幸から救い出されたエデ姫である。彼女は、幸福と安寧に背を向けた伯爵にとつて、唯一の光明ともいえる存在だ。私の持っていた本には、大変かわいいお姫様の挿絵がついていた。最後に伯爵と結ばれたときには、激しい嫉妬かられたのを今でも覚えている。

その本をもう一度読みたくて、児童図書館や書店を回ってみたが、版元がどこかわからないため、どうしてもめぐりあえない。牢獄で主人公に秘宝のありかと学問を教えるのは、どの本でも「ファリア神父」または「ファリア司祭」であるが、私が読んだバージョンでは、「ファリア法師」となっていた。これは大きな手がかりだと思いが、どなたかご存知の方はいらっしやらないだろうか。

「私の巖窟王」を捜すために、各社から出版されたものを読み比べていたら、小説というより単なる粗筋のようなものや、事務的な文章のもの

が多いことに気付いた。デユマはあまり心理描写をしないから、子供向けダイジェスト版にするとそのようなことになってしまうのかもしれないが、どうにもがっかりしてしまう。

「私の巖窟王」は、文章が大変美しかった記憶がある。きらびやかな登場人物たちが織りなす恋、冒険、復讐。それらの描写は綿密で正確で、目の裏に生き生きと情景が立ち上がってくるようだった。

日が翳ってきたことにも気付かず、薄暗い部屋の一隅で「ご飯よ！」と母に肩を叩かれるまで読みふけていたあの日の私は、まさしく一九世紀のシャンゼリゼ通りを馬車から眺めたいし、伯爵と仇敵の息子との決闘の現場に、固唾を飲んで立ち尽くしていた。

今でもときどき、無性にモンテ・クリスト伯爵が慕わしくなる。彼が私の心から消える日は、きっと来ないだろう。

子供時代こそ、そんな生涯忘れられないような作品に出会って欲しいと思う。

(図書館 鈴木)

おしらせ

第三回映画上映会『ウォーターボーイズ』

日時 二〇〇七年七月三日(火) 一六:三〇~

場所 七二〇一教室

第三回読書会『一瞬の風になれ』

日時 七月一二日(木) 昼休み

場所 緑園図書館四階 読書運動プロジェクトミーティングルーム

ナビゲーター 佐藤裕子先生

読書運動プロジェクト関連企画 貴重書特別展示

「ベルリン・コレクション」復刻・世界の絵本館」

期間 二〇〇七年七月一日(水)~八月六日(月)

場所 附属図書館緑園本館二階 特別展示コーナー

*ドイツ国立図書館所蔵の古絵本の復刻版を展示します。

読書運動プロジェクトの企画はすべて入場無料、予約不要です。

おわりに

読書運動プロジェクトのイベントはすべて入場無料で予約不要にもかかわらず、今年度の映画会の来場者数は、伸び悩みというのが正直なところです。今年の一冊の本が野球小説のバッテリーであることを考え、スポーツ関連の面白い映画を取り揃えて企画しているのですが、何故低迷が続いてしまうのでしょうか。毎週木曜日の昼休みに開催されているプロジェクトミーティングで話し合ったところ、時間帯の設定が悪いのでは？(五限の時間帯では皆帰ってしまう) 昼休みにしたらどうだろうか。(昼食を摂りつつ二日間に分けて上映する) などの意見が出ました。読書運動プロジェクトは、学生の意見を元に活動を展開しています。こんなイベントなら参加してみたい、この時間帯なら参加者が多いのでは？等々の意見がありましたら、是非お聞かせください。直接図書館のカウンターに申し出るか、艦内設置のアンケート用紙に記入して、回収ボックスに投入してください。お待ちしております。

(図書館事務室)